

## 村田のぞみ 個展

MURATA Nozomi solo exhibition

## 言葉の舟を編む

Weaving a boat from memories



www.kunstarzt.com

KUNST ARZT では、4 年振り、3 度目となる  
村田のぞみの個展を開催します。

村田のぞみは、細いステンレス線で

“空間ドローイング” するアーティストです。

見えていないけれど感じる“何か”を確かめるように、  
執拗なまでに、ただひたすらステンレス線を縫い合せ、  
空間に描いてゆきます。

瀬戸内国際芸術祭 (2019,22) では、築 100 年以上の一軒家を使  
い、かつての生活の気配を視覚化することを試みました。  
本展では、「2023 年 9~11 月にかけて大阪市西淀川区福町で  
リサーチした土地の記憶を元に、その場所で紡ぎ出された言  
葉を作品に編み込むような作品」(作家の言葉) をメインス  
ペースに展開します。 (KUNST ARZT 岡本光博)



まなうらの景色 2022

Remains in the Mind's eye

2022 年 (瀬戸内国際芸術祭 2022 展示作品)

空き家、ステンレスワイヤー

撮影：木奥恵三

サイズ：サイズ可変

コンセプト：過疎化の進行によって、現在ほとんど人が  
住んでいない地域に位置する、空き家の中に展開した。  
屋内に銀色のワイヤーを細かく編み、  
かつての生活の気配を視覚化することを試みた作品。

## 経歴

1994 年 奈良県生まれ

2022 年 京都精華大学大学院芸術研究科博士後期課程 退学

2023 年 博士 (芸術) 取得

## 個展

2016 MURATA Nozomi Exhibition trace (京都)

2017 村田のぞみ展 trace

2018 “Through the lines” KUNST ARZT (京都)

2019 BUBBLES KUNST ARZT

## 主なグループ展

2015 ライン展 GALLERY Maronie (京都)

2016 “some - 染色の DNA-” 染・清流館 (京都)

2016 輪形 Impact Hub Kyoto (京都)

2016 祈り GALLERY Maronie (京都)

2019 瀬戸内国際芸術祭 高見島 (香川)

2020 残り香 - ここにあるということ - (kumagusuku/ 京都)

2020 ALL NIGHT HAPS 「Kangaru」 (HAPS オフィス / 京都)

2020 ウィルヘルミーの吊り板 (MEDIA SHOP GALLERY / 京都)

2021 OBJECT 2021-object &amp; books- (ロームシアター京都)

2022 アートハウスいこね 企画展「その匙を緩める」(art house icone / 大阪)

2022 TAKAMIJIMA INSIDE 展 (TAKAMIJIMA INSIDE GALLERY/ 高見島・香川)

2022 瀬戸内国際芸術祭 2022 (高見島 / 香川)

2023 アケルナルの光をみる (福町 / 大阪)

2024 年 1 月 23 日 (火) から 28 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント+ 展覧会コンセプト

2017年頃からワイヤーによる作品制作を継続している。初期はかつてそこに存在していた故人をモチーフとして細いワイヤーを立体的に編むことで、虚な像を制作していたが、2019年の瀬戸内国際芸術祭で、かつて人々が生活した空き家のなかに展示したことがきっかけとなり、次第に展覧会を開催する場所が持つ記憶や気配、その土地の記憶を聞き取ることで浮かび上がる、土地の亡霊とでも言うような存在に関心を持ち始めた。本展覧会では、2023年9～11月にかけて大阪市西淀川区福町でリサーチした土地の記憶を元に、その場所で紡ぎ出された言葉を 作品に編み込むような作品を展開する。



個展「Through the lines」 (2018) KUNST ARZT 展示風景 photo by OFFICE MURA PHOTO



言葉の舟を編む(制作風景) 2023年

かつて漁村であった大阪の福町で、現地で聞き取りした言葉を元に文字の舟を編む作品。